

2019年度 高知県ラグビーフットボール協会 普及推進事業 『タグラグビー出前授業（中学校）』実施要領

1. はじめに

- 1) タグラグビーとは、ラグビーと同等のルールではあるが、タックルなどの身体の接触が少ない安全なボールゲームです。また、ゴールなどの特別大型な器具を必要とせず、コートของ広さやプレーヤー数にアレンジを加えやすく、ボールとタグさえあれば子どもから大人まで誰もが手軽に楽しむことのできる競技です。
- 2) タグラグビーではボールを持ったまま走ることができ、その延長として広いゴールゾーンのどこでもよいので走り込めば得点できるなど、他のボールゲームに比べてやさしい面が多いので、運動の苦手な子でも活躍できます。
- 3) タグラグビーにおいて、攻めではボールを持って走り、守りでも相手を追いかけて走ることで豊富な運動量があることはもちろん、様々な方向へスピードを変えながら走り回ることによって、敏捷性やバランス感覚も自然に養われていきます。
- 4) タグラグビーは、教育指導効果も認められ令和3年4月から施行される中学校学習指導要領解説書（保健体育編）に例示されることになりました。これを受けて高知県ラグビー協会ではこれまでも小学校での『タグラグビー出前授業』などタグラグビー普及に取り組んできましたが、さらに中学生年代での体力向上や集団づくりの一助となるよう、タグラグビーの普及活動として『中学校へのタグラグビー出前授業』に取り組めます。タグラグビーを通じて楕円のボールに触れる機会を提供し、ラグビーという競技に興味を持ってもらうきっかけにすることを目的のひとつとします。

2. タグラグビーの良さ

- 1) 小学校の学習経験から発展させやすい運動
 - ・鬼遊び（鬼ごっこ）と深い関連性を持つ
 - ・小学校の鬼遊びから自然に学習を発展させやすいボールゲームである
- 2) 今持っている力で楽しむやさしい学習を導きやすい運動
 - ・後ろにパスされるので、どの子もボールを手にする機会を持ちやすい
 - ・ゲームに参加するために必要な個人的技術が、ボールを持って走るだけなのでやさしい
 - ・得点の仕方もやさしく、運動が苦手な子も含めてどの子も得点できる可能性が高い
 - ・タグを使うことで、攻守の動きがはっきりとしていて子どもに分かりやすい

- 3) ゲームへの参加から豊富な運動量をもたらされる運動
 - ・ゲームへの参加が自然に促され、豊富な運動量をもたらされる
 - ・多様な動きにより、敏捷性やバランス感覚が自然に養われる
 - ・基本的に少人数（4～5人）で行うのでボールを触る機会も運動量も増えると同時に、作戦タイムなど話し合うことでの成長も期待できる

- 4) 個人差や男女差が顕在化しにくい運動
 - ・多くの子どもにとって初めて出会う運動種目であり、スタートがみんな一緒
 - ・運動が苦手な子も参加しやすいやさしいゲームなので、中学生年代であっても個人差や男女差が顕在化しにくい
 - ・男子と女子、また大人と子どもでも一緒に楽しめるので、様々な場で活用できる

3. 講師について

- 1) 高知県ラグビーフットボール協会より講師を派遣します。
- 2) 教諭を対象とした講習会も、要望があれば随時実施します。

4. 実施期間

2019年5月13日～2020年3月31日

5. 実施時間

- 1) 学年にもよりますが1回の出前授業の目安として、45分授業で1～3コマ。
- 2) 単元として行う場合は、合計で6～10コマ程度いただきたいです。
- 3) 行事等での運用も可能です。
- 4) 上記1)、2)、3)ともに相談に応じます。

6. 場所について

県内各中学校（運動場、体育館のどちらでもOK）

7. 過去の実践例

- 1) 四万十市立西土佐中学校のケース
 - ・1～3年生までの全校生徒（男子34名・女子35名）に対して、各学年毎に3コマの出前授業を実施。基本的な練習を2コマ、ゲームを中心に1コマ。

- 2) 高知市立一宮東小学校4年生（男子28名・女子29名）のケース
 - ・11月下旬から1月中旬まで、2クラスに各4回ずつの出前授業を実施。

- ・1月下旬に学年行事として学校グラウンドにてラグビー大会を実施。保護者33名も出場。チームは児童・保護者混合で編成。トーナメント形式で行うも、各チーム複数回ゲームができるように工夫。

3) 高知市立旭小学校4年生(男子50名・女子57名)のケース

- ・9月中旬に2コマを使って学校グラウンドにて3クラス合同で出前授業。ルールや練習方法などをレクチャー。
- ・通常の授業(5回)の中で担任の先生方が指導。
- ・10月下旬に学年行事として学校グラウンドにてラグビー大会を実施。保護者17名も出場。チームは児童・保護者混合で編成。トーナメント形式で行うも、各チーム複数回ゲームができるように工夫。

4) 香南市立佐古小学校4年生(男子36名・女子26名)のケース

- ・11月上旬の平日午後より、学年行事としてラグビー大会を実施。会場は野市青少年センターのサッカーグラウンドをお借りして使用。保護者60名が出演。児童・保護者混合でチーム編成。トーナメント形式で行うも、各チーム複数回ゲームができるように工夫。

5) 高知市立大津小学校3年生(男子52名・女子52名)のケース

- ・1月末から3月上旬まで、3クラスに各6回ずつの出前授業を実施。

2)の旭小学校のケースは、出前授業でレクチャーした内容を担任の先生方がアレンジしながら継続的に授業で取り組んでくださり、学年行事での大会開催に繋げていただきました。1)の一宮東小学校のケースも含め、複数回授業で取り組めば、ゲームの中でかなりハイレベルなプレーが展開されるようになります。また、3)の佐古小学校のケースのように単発の学年行事であっても、保護者が多数参加していただくと初めてでも非常に盛り上がります。

4)の大津小学校のケースは、1クラスに対して最もたくさんの授業を行えました。段階的な指導が可能となり、クラス内での友達関係なども含めて生徒の様子も把握できたので、準備や片づけも含めてきめ細かくハイレベルな授業が展開できました。

5)の下川口小学校のケースのように、一学年の人数が少ない場合にでも他学年との合同で実施可能です。保護者参加のケースも含めて、異年齢集団であっても運動能力の違いにあまり左右されずに楽しめるのがラグビーの特徴です。

8. その他

- 1) 講師料や用具代などの費用はかかりません。
- 2) 本事業において発生した怪我等においては、各学校での対応をお願いいたします。